

CAP教職員ワークショップ

8月6日、8日、9日に、町教育委員会は、町内の小・中学校の全教職員を対象に、CAP教職員ワークショップを行いました。CAPとは、Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。教員たちは対話形式のワークショップで子どもの権利や子どもへの働きかけの方法について学びました。



ぶどう郷パトロール

8月19日、榛東村役場にてぶどう郷パトロール出発式が行われました。おいしいぶどうを盗難の被害から守るため、吉岡町小倉ぶどう生産組合・榛東村ぶどう生産組合連合会・渋川警察署が協力して見回りを行いました。町内でのパトロールは9月まで行われました。

第25回ぐんまSELP SHOP in ジョイホンパーク吉岡

8月31日、9月1日の2日間、ジョイホンパーク吉岡で、第25回ぐんまSELP SHOPが開催されました。当イベントは障害者就労支援施設などの作業や訓練で製作された製品の共同販売会です。パンや焼き菓子、手工芸品など、丁寧につくられた製品は大好評でした。



女性防火クラブ救急救命講習会

7月27日、町女性防火クラブは、渋川広域消防南分署職員を講師に招き、普通救命講習会を開催しました。

講習会では、胸骨圧迫やAEDの使用方法などを学びました。一般の参加者を含めた31人の参加者たちは、積極的に質問するなど熱心に受講していました。



ねこの手Jr.が 町内学童・保育園で読み聞かせ

町生涯学習ボランティア「ねこの手VG」により運営されている、町の子どもたちを主体とするボランティア組織「ねこの手Jr.」が、7月31日から8月20日にかけて、町内の学童や保育園で読み聞かせを行いました。第二保育園では、工夫を凝らした読み聞かせが披露され、園児たちは大喜びで声を上げて読み聞かせに参加していました。



第51回 渋川広域圏福祉パレード

9月の知的障害者福祉月間に合わせ、9月10日に役場で福祉パレードが行われました。吉岡町内の障害のある人や関係者が参加し、町長、議長、教育長宛てにメッセージの朗読や記念品の贈呈が行われました。



友好都市 大樹町通信

歴舟川清流まつり

8月4日、第33回歴舟川清流まつりを開催しました。気温30度を超える暑さの中、町内外から多くの方が来場し、飲食ブースに長蛇の列ができました。まつりを盛り上げるペルプネ火祭りでは、高さ約20メートルの柱たいまつが天を焦がすほどの勢いで燃え上がり、大きな音を立てながら、ゆっくりと倒れていきました。メインの花火大会では、大輪の花が夏の夜空を彩りました。



このコーナーでは友好都市大樹町の魅力を町民の皆さんに紹介します。